

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 23 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県糸魚川市大字中宿457番地

氏名 関原開発建設株式会社
代表取締役 関原 広幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-555-2093

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	関原開発建設株式会社
事業場の所在地	新潟県糸魚川市大字中宿457番地
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	職別工事業
② 事業の規模	80,000千円
③ 従業員数	10 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】								
産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
排出量	14.22 t	10.06 t	36.45 t	430.59 t	25.75 t	0.00 t	38.96 t	2,016.70 t
産業廃棄物の種類	解体系混合	廃石膏ボード	ガラス・コンクリート(木くず)	ガラスくず(非飛散性)	アスファルト・コンクリート破片			
排出量	0.88 t	35.89 t	21.86 t	23.75 t	135.43 t			
(これまでに実施した取組)								
一般廃棄物の範囲を区別して専門業者に委託した								
【目標】								
産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
排出量	0.00 t	7.00 t	30.00 t	400.00 t	20.00 t	0.00 t	25.00 t	1,000.00 t
産業廃棄物の種類	解体系混合	廃石膏ボード	ガラス・コンクリート(木くず)	ガラスくず(非飛散性)	アスファルト・コンクリート破片			
排出量	0.70 t	30.00 t	25.00 t	15.00 t	100.00 t			
(今後実施する予定の計画)								
現状の取組みを推進すると共に現場での分別作業を徹底して行う								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 処分業者等の関係機関に確認するなど情報収集に努めた
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組みを継続し、法令の改正・種類の内容等情報提供を社内外に徹底する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								500.00 t
①現状	産業廃棄物の種類	解体系混合	廃石膏ボード	ガラス・コンクリート(木くず)	ガラスくず(非飛散性)	アスファルト・コンクリート破片			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								500.00 t
①現状	産業廃棄物の種類	解体系混合	廃石膏ボード	ガラス・コンクリート(木くず)	ガラスくず(非飛散性)	アスファルト・コンクリート破片			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
②計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								500.00 t
①現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	解体系混合	廃石膏ボード	ガラス・コンクリート(木くず)	ガラスくず(非飛散性)	アスファルト・コンクリート破片			
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								500.00 t
①現状	産業廃棄物の種類	解体系混合	廃石膏ボード	ガラス・コンクリート(木くず)	ガラスくず(非飛散性)	アスファルト・コンクリート破片			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
②計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

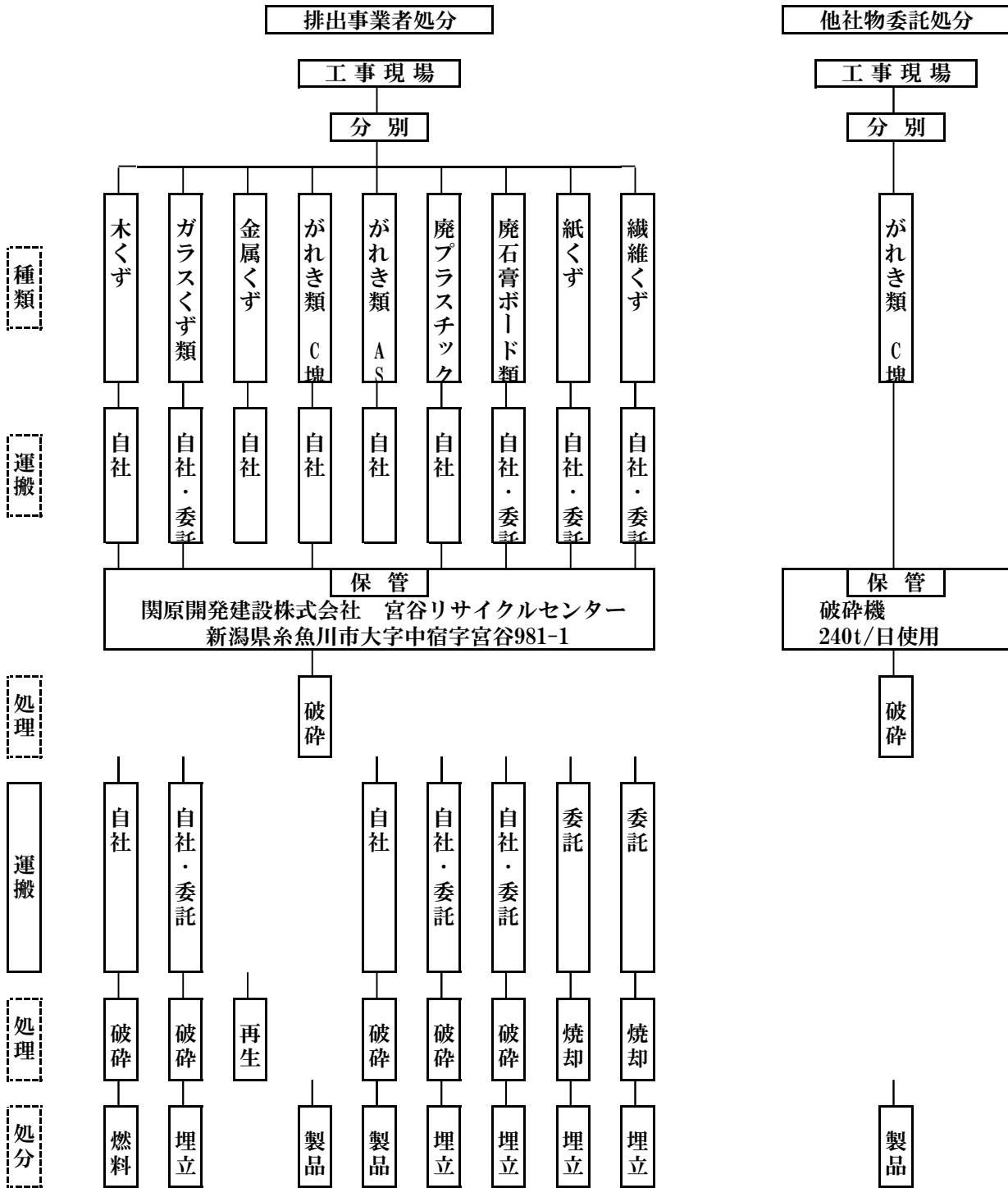
【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
		全処理委託量	14.22 t	10.06 t	36.45 t	430.59 t	25.75 t	0.00 t	38.96 t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.22 t	t	t	t	t	t	t	1,909.29 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	107.41 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	393.86 t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	全処理委託量	0.88 t	35.89 t	21.86 t	23.75 t	135.43 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	15.91 t	6.83 t	23.75 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	135.43 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまで実施した取組)									

② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・陶磁器くず	がれき類
	全処理委託量	0.00 t	7.00 t	30.00 t	400.00 t	20.00 t	0.00 t	25.00 t	1,000.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量								1,000.00 t
	再生利用業者への処理委託量								
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				400.00 t				
	産業廃棄物の種類	解体系混合	廃石膏ボード	ガラス・コンクリート(木くず)	ガラスくず(非飛散性)	アスファルト・コンクリート破片			
	全処理委託量	0.70 t	30.00 t	25.00 t	15.00 t	100.00 t			
	優良認定処理業者への処理委託量		20.00 t	20.00 t	15.00 t				
	再生利用業者への処理委託量					100.00 t			
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
(今後実施する予定の取組)									
※事務処理欄									

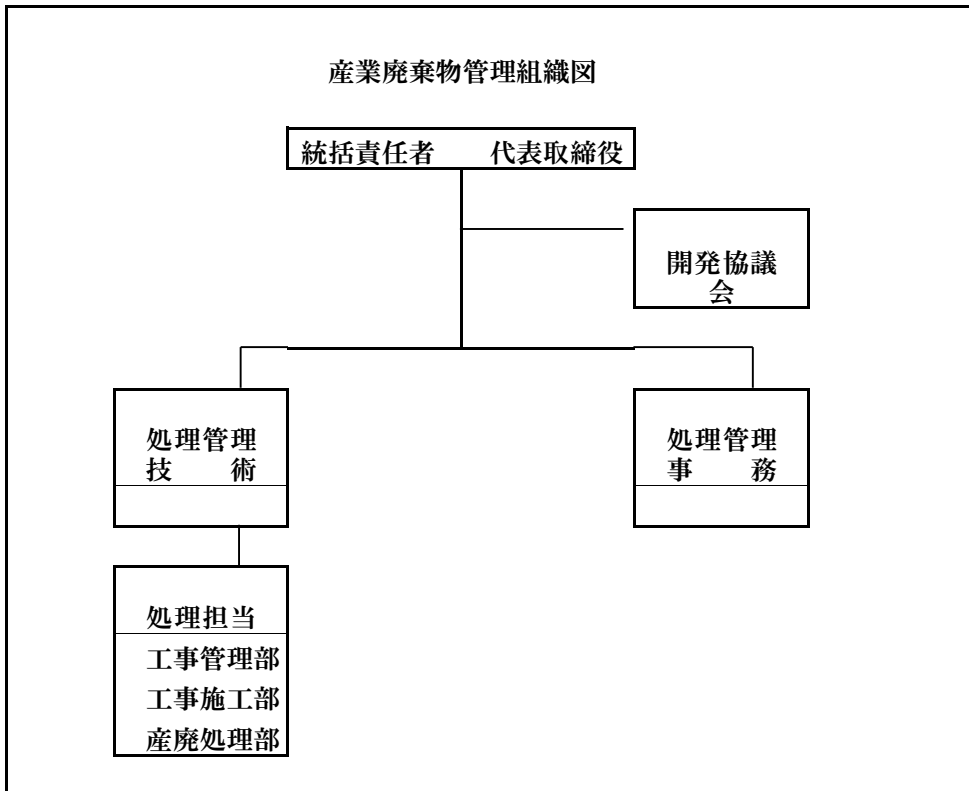
産業廃棄物処理フローシート



別紙2 管理体制

1) 責任者及び管理組織

総括責任者		代表取締役	代表取締役	関原 広幸
廃棄物担当者		産業廃棄物処理管理技術		
		産業廃棄物処理管理事務		
役割	統括責任者	・産業廃棄物処理方針の調査・研究、策定		
		・産業廃棄物処理施設の改廃		
		・産業廃棄物処理の情報収集		
		・産業廃棄物処理に係る管理業務の統括		
業務	処理管理技術	・産業廃棄物処理施設の管理		
		・産業廃棄物処理の適正処理に関する研鑽		
		・産業廃棄物処理業務に関する安全・衛生管理		
		・産業廃棄物処理に係る委託業者との連携、折衝		
業務	処理管理事務	・産業廃棄物処理に関する、委託契約、処理計画書の作成		
		・産業廃棄物管理票の交付、整理、まとめ、報告等の管理		
		・産業廃棄物処理業の許可更新業務		
		・その他関係する事務一般		



2) 管理体制の推進

- ① 処理実務担当者は、従業員全員とし、産業廃棄物の収集運搬、処分に関し、研鑽する
- ② 産業廃棄物に関する法令の改正、種類の内容等の情報提供を社内外に徹底する

3) 教育・研修

- ① 随時研修
 - 工事現場、保管場における、分別、保管の方法、安全・衛生に関する教育の実施
- ② 環境研修
 - 産業廃棄物関連法令、県市町村の条例の情報開示及び講習の実施
- ③ 実務研修
 - 他業者の現場見学、委託業者の処分場視察